

平成25年度 事業報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人 薬学共用試験センター

1 事業の成果

平成26年度に薬学実務実習を履修する全国の薬系大学(73大学74校)の学生(主に6年制課程の4、5年次学生)を対象とした第5回薬学共用試験(CBTは体験受験及び本試験と追・再試験、OSCEは本試験と追・再試験)を実施した。いずれも大きな支障なく実施することができた。受験システムにおいては、携帯電話や腕時計などの不要な物品を着用しないことを遵守するため、受験システムと連動した確認ステップを導入した。OSCEの評価入力システムについては予備の試験枠を導入できるように改修した。また昨年度に引き続き、関東地区で大災害などの不測の事態が発生した場合にも事業を継続できるよう近畿地区に一時的に設置することになった副事務局において、平成25年9月のCBT体験受験の実施中に、センターサーバから代理サーバへのシステムの切替や試験管理業務の引継ぎ等の実施訓練を行った。次年度以降も種々の状況を想定して訓練を行う予定である。

2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	CBT実施における注意点や第3回本試験で新たに見出された事象などの周知徹底を目的としてCBT説明会を開催した。	平成25年5月26日	慶応義塾大学薬学部	5人	全国薬系大学の教員(約100名)	28千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第5回共用試験CBT本試験に先立ち、受験生の練習や体制の確認、新規問題の妥当性の検証を目的としたCBT体験受験を実施した。	平成25年7月24日～9月13日	73薬系大学74校	100人	全国薬系大学の教員(約230名)及び薬学生(10,389名)	2,160千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	OSCEの評価者養成伝達講習会を開催した。ロールプレイを通し評価の基本概念や各大学での評価者養成におけるポイントを共有した。	平成25年8月31日	京都薬科大学	19人	全国薬系大学の教員(約80名)	460千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	OSCEモニター説明会とワークショップ説明会を開催した。モニター業務の意義や問題点について協議した。また事前審査手順や当日の任務について再確認した。	平成25年9月3日	慶応義塾大学薬学部	14人	全国薬系大学の教員(約80名)	510千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第5回共用試験(CBT、OSCE)の本試験および追・再試験を実施した。	本試験：平成25年11月30日～平成26年1月31日、 追・再試験：平成26年2月18日～3月15日	73薬系大学74校	260人	全国薬系大学の教員(約750名)及び薬学生(10,316名)	7,940千円